

教育研究業績概要

氏名 吉子 健一 (よしこ けんいち)		
研究分野	所属学会の名称	
臨床神経生理学, 臨床検査システム, 医療の質安全学	日本臨床検査医学会, 日本臨床神経生理学会, 医療の質・安全学会	
教育上の能力に関する事項		
事項	年月	概要
1 教育の実践例, 教育に関する評価等 授業の工夫	2014年10月～現在	教科書の内容について, 実践的な視点を加えて解説するよう心がけている
2 作成した教科書, 教材, 指導書等 デジタル脳波計 第14回中部地区生理検査 研修会テキスト(中部地区臨床衛生検査技師 会) 脳波判読の基礎 第1回中部地区神経生理勉 強会テキスト(日本神経生理研究会) 認定サクセスストーリー(2) ISO15189 の認定 取得と効果 JAB 試験所認定精度説明会 - どうつかう? 試験所認定 - テキスト(公益財 団法人日本適合性認定協会) (他3編)	2001年2月 2003年11月 2013年1月	デジタル脳波計の原理, 特性の概説, 適切な使用法 を解説 脳波波形の計測の仕方, 判読の仕方と正常波形, 異 常波形を提示し脳波報告書の記載の仕方について解 説 ISO15189 の認定取得メリット及びその効果について 解説
3 教育実践に関係がある実務経験・委員・ 講師等 脳波測定の基礎(講師と実技指導), 自然科 学研究機構生理学研究所 名古屋大学医学部保健学科臨床実習 中部大学生命健康科学部生命医科学科臨床検 査総合実習	2007年7月 2001年4月～2014 年9月 2011年4月～2014 年9月	生理学研究所感覚運動研究調節部門において, 脳波 測定手技の基礎および雑音対策に関する講演, ハン ズオンによる技術指導を実施 臨地実習(臨床生理学II)を担当 2001年4月～2007年3月:名古屋大学医学部保健学 科非常勤講師, 2007年4月～2009年3月:名古屋大 学医学部保健学科臨床准教授, 2009年4月～2014年 9月:名古屋大学医学部保健学科臨床教授 臨床検査総合実習(神経生理検査)を担当 2012年5月～2014年9月:中部大学生命健康科学部 生命医科学科臨床教授
職務上の実績(学術団体や社会等における活動)に関する事項		
事項	年月	概要
1 資格, 免許, 特許, 受賞等 (免許) 臨床検査技師 (資格) 医療情報技師 ISO15189 システム審査員 候補者・技術審査員	1980年4月 2003年11月 2012年5月	登録番号 75460 号 登録番号 20030352 号(日本医療情報学会) 審査員番号 A211041(公益財団法人日本適合性認定協 会)

<p>2 学術・社会活動上の委員・講師・実務経験等</p> <p>日本臨床神経生理学会 技術教育試験委員会 問題作成委員</p> <p>シスメックス株式会社 産学共同研究</p>	<p>2007年11月～2010年11月</p> <p>2012年4月～2014年10月</p>	<p>日本臨床神経生理学会認定脳波技師試験問題の作成</p> <p>臨床検査室業務支援ツール（文書管理，臨床検査機器管理，教育管理）の開発（プロジェクトリーダー）</p>		
研究業績等に関する事項				
著書名，報告書名等	単・共著の別	発行年月	発行所等の名称	著者名・ページ数等
<p>(著書)</p> <p>臨床睡眠医学 - 太田龍朗, 大川匡子, 塩澤全司 (編)</p> <p>基礎からの睡眠医学 古池保雄 (監修) 野田明子・中田誠一・尾崎紀夫 (編集)</p> <p>検査診断学への展望-臨床検査指針:測定とデータ判読のポイント-, 第62回日本医学検査学会記念誌編集委員会 (監修)</p> <p>(他3編)</p>	<p>共著</p> <p>共著</p> <p>共著</p>	<p>1999年10月</p> <p>2010年6月</p> <p>2013年6月</p>	<p>朝倉書店 (東京)</p> <p>名古屋大学出版会 (名古屋)</p> <p>南江堂 (東京)</p>	<p>吉子健一・4. 睡眠評価のための検査法 4.1 家庭でのテープレコーダ・ビデオレコーダの利用 p65-p67/4.4 日中の睡眠ポリグラフ (p73-80)</p> <p>吉子健一・第II部睡眠医学における検査 17 脳波検査 (p229-238)</p> <p>吉子健一・脳波の測定と判読における注意点 (P473-481)</p>
<p>学術論文</p> <p>学会発表等の題名</p>	発表者名		<p>発表雑誌名・巻・ページ・発表年等</p> <p>学会名・発表年・開催都市名等</p>	
<p>(学術論文)</p> <p>Cerebral Oxygenation State in Child food Moyamoya Disease: A Near-Infrared Spectroscopy Study</p> <p>Predictive Model for the Assessment of Cognitive Impairment by Quantitative Electroencephalography</p> <p>Relationship between Clinical Finding and Quantitative Electroencephalographic Variables in Comatose Patients</p> <p>(他44編)</p>	<p>Yanping Lin, <u>Kenichi Yoshiko</u>, Tamiko Negoro, Kazuyoshi Watanabe, Makoto Negoro</p> <p>Joji Onishi, Yusuke Suzuki, <u>Kenichi Yoshiko</u>, Shin Hibino, Akihisa Iguchi</p> <p><u>Kenichi Yoshiko</u>, Tamiko Negoro, Hiroshi Ando</p>		<p>Pediatric Neurology 22, p365-369, 2000</p> <p>Cognitive and Behavioral Neurology 18, p179-184, 2005</p> <p>Bulletin of Health Sciences Kobe 24, p1-9, 2009</p>	

<p>(学会発表等)</p> <p>Intra arterial electroencephalogram monitoring in patients with cerebral arteriovenous malformation during intravascular surgery</p> <p>国立大学病院の立場から-IS015189 の取得とその効果-</p> <p>臨床検査室業務支援ツールの開発とその運用</p> <p>(他 122 件)</p> <p>(その他)</p>	<p><u>Kenichi Yoshiko</u>, Tamiko Negoro, Toshio Kitano, Makoto Negoro, Ikuo Takahashi and Kazuhiro Fukui</p> <p>吉子健一</p> <p>吉子健一</p>	<p>Xth International Congress of Electromyography and Clinical Neurophysiology, October, 1995, Kyoto</p> <p>第 58 回日本臨床検査医学会学術集会 シンポジウム 5 IS015189 取得と今後の展望, 2011 年 11 月, 岡山</p> <p>平成 25 年度大学病院情報マネジメント部門連絡会議, 2014 年 2 月, 徳島</p>
--	---	---